



オペレーティングシステムのインストール

- [はじめに \(1 ページ\)](#)
- [高速インストール \(2 ページ\)](#)
- [カスタムインストール \(3 ページ\)](#)
- [ESXi カスタム インストール \(3 ページ\)](#)
- [Windows OS のカスタムインストール \(4 ページ\)](#)
- [Linux OS のカスタムインストール \(5 ページ\)](#)

はじめに

Cisco UCS-SCU には、RAID ドライバを含むデバイス ドライバが組み込まれており、追加のドライバロード手順や、USB などのデバイスを使用せずに、サポートされる RAID 論理アレイにオペレーティングシステムをインストールすることができます。

This chapter provides procedure and information on how to use SCU with Cisco UCS C-Series rack-mount standalone servers.

For information on how to use SCU with Cisco UCS C-Series and B-Series Cisco Intersight managed servers, see [Installing an Operating System](#).

UCS-SCU は次の OS のインストールをサポートします。

- 仮想ディスク
- NVMe デバイス
- M.2 デバイス
- JBOD モードのディスク
- SD カード
- SW RAID



(注) これは、Cisco UCS M4、M5、および M6 サーバーでのみ使用できます。



- (注) オペレーティングシステムのインストールを開始する前に、ウォッチドッグタイマーを無効にしてください。この機能がイネーブルで、値が OS のインストールに必要な時間よりも小さい期間に設定されていると、オペレーティングシステムのインストールプロセスは中断されます。このウォッチドッグタイマー機能は、指定された期間後に自動的にサーバーをリブートするか、電源をオフにします。

オペレーティングシステムをインストールするには、次の2つの方法があります。

- **高速インストール (2 ページ)** : デフォルト設定を使用してオペレーティングシステムをインストールするには、[Quick Install] オプションを使用します。
- **カスタムインストール (3 ページ)** : オペレーティングシステムをインストールする前にデフォルト設定を変更するには、[Custom Install] オプションを使用します。

高速インストール

[Quick Install] オプションでは、デフォルトパラメータを使用してオペレーティングシステムをすばやくインストールできます。ターゲット OS に応じたデフォルトパラメータを示す [OS Install] ページを表示できます。高速インストールはユーザー入力を必要としない方法であり、ワンクリックでオペレーティングシステムをインストールする方法です。

始める前に

物理/仮想/論理ディスクにOSをインストールする場合は、オペレーティングシステムをインストールする前に、仮想/論理ディスクが作成されていることを確認します。論理ディスクが作成されない場合、ディスクの詳細が **[デフォルト設定 (Default Settings)]** 領域の下に表示されません。

- Step 1** 左側のナビゲーションペインで、**[OS のインストール (OS Installation)]** をクリックします。
[OS のインストール (OS Installation)] ページにすべての OS インストールのオプションが表示されます。
- Step 2** **[OS カテゴリ (OS category)]** ドロップダウンリストから、目的のオペレーティングシステムを選択します。
- Step 3** **[OS バージョン (OS Version)]** ドロップダウンリストから、該当するバージョンを選択します。
- Step 4** **[OS エディション (OS edition)]** ドロップダウンリストから、該当するエディションを選択します。
(注) これは、Windows オペレーティングシステムでのみ使用できます。
- Step 5** **[インストール用のディスク (Installing Disk)]** ドロップダウンリストから、OS をインストールするディスクを選択します。
- Step 6** **[クイックインストール (Quick Install)]** をクリックすると、インストールが開始されます。
- Step 7** **[はい (Yes)]** をクリックして確定します。
- Step 8** インストールが完了したら、デフォルトのパスワードを使用してログインします。

(注) 工場出荷時のデフォルトパスワードは **Pa55w0rd@** です。シスコは最初のログイン後に、パスワードを変更することを推奨します。

カスタム インストール

[Custom Install] オプションでは、デフォルト設定をカスタマイズできます。カスタム インストールについては、次を参照してください。

- [ESXi のインストール \(3 ページ\)](#)
- [Windows Server オペレーティングシステムのインストール \(4 ページ\)](#)
- [Linux Server Series オペレーティングシステムのインストール \(5 ページ\)](#)

ESXi カスタム インストール

ESXi のインストール

ESXi のインストール オプションでは、オペレーティング システムをインストールしてデフォルト設定をカスタマイズできます。



(注) ESXi のインストールは、HV パーティションで仮想ドライブを有効にし、ホストを再起動した後、Cisco UCS C220 M4/M5 および C240 M4/M5 サーバの SD カードでもサポートされます。

- Step 1** 左側のナビゲーション ペインで、**[OS のインストール (OS Installation)]** をクリックします。
[OS のインストール (OS Installation)] ページにすべての OS インストールのオプションが表示されます。
- Step 2** **[OSカテゴリ (OS category)]** ドロップダウンリストから、**[VMware]** を選択します。
- Step 3** **[OS バージョン (OS Version)]** ドロップダウン リストから、該当する ESXi バージョンを選択します。
- Step 4** **[インストール用のディスク (Installing Disk)]** ドロップダウン リストから、ディスクの保存場所を選択します。
- Step 5** **[カスタム インストール (Custom Install)]** ボタンをクリックします。
選択した ESXi バージョンの **[VMware ESXi のカスタム インストール (VMware ESXi Custom Install)]** ページが表示されます。
- Step 6** **[VMware ESXi のカスタム インストール (VMware ESXi Custom Install)]** ページで次の手順を実行します。
a) **[基本構成 (Basic Configuration)]** 領域では、次のことを行ってください。

1. [キーボード (Keyboard)] ドロップダウンリストから、該当する言語を選択します。
デフォルトでは英語に設定されています。
 2. [ルートパスワード (Root Password)] フィールドに、ルートパスワードを入力します。
 3. [ルートパスワードの確認 (Confirm Root Password)] フィールドにルートパスワードを再入力します。
 4. [プロダクトキー (Product key)] フィールドに、プロダクトライセンス キーを入力します。
- b) [インストール用ディスク (Installation Disk)] 領域では、[インストールディスクの選択](#)の手順を実行します。
- c) [ネットワーク設定 (Network Settings)] 領域では、[ネットワーク設定](#)の手順を実行します。
-

Windows OS のカスタム インストール

Windows Server オペレーティングシステムのインストール

カスタム設定で Windows Server OS をインストールするには、次の手順を実行します。

- Step 1** 左側のナビゲーション ペインで、[OS のインストール (OS Installation)] をクリックします。
[OS のインストール (OS Installation)] ページにすべての OS インストールのオプションが表示されます。
- Step 2** [OSカテゴリ (OS category)] ドロップダウン リストから、[Windows] を選択します。
- Step 3** [OS バージョン (OS Version)] ドロップダウン リストから、該当する Windows バージョンを選択します。
- Step 4** [OS エディション (OS edition)] ドロップダウン リストから、該当するエディションを選択します。
- Step 5** [インストール用のディスク (Installing Disk)] ドロップダウン リストから、ディスクの保存場所を選択します。
- Step 6** [カスタム インストール (Custom Install)] をクリックして、インストールを開始します。
選択した Windows バージョンの [Windows のカスタム インストール (Windows Custom Install)] ページが表示されます。
- Step 7** Windows のカスタム インストール (Windows Custom Install) ページで次の手順を実行します。
- a) [基本構成 (Basic Configuration)] 領域では、次のことを行ってください。
 1. [Time Zone] ドロップダウンリストから、タイムゾーンを選択します。
 2. [言語 (Language)] ドロップダウン リストから言語を選択します。
 3. [管理者パスワード (Administrator Password)] フィールドに、新しい管理者パスワードを入力します。

4. [管理者パスワードの確認 (Confirm Administrator Password)] フィールドに、パスワードを再入力します。
 5. [組織 (Organization)] フィールドに、管理者の組織名を入力します。
最大文字数は 15 文字です。
 6. [ワークグループ (Workgroup)] フィールドにワークグループ名を入力します。
最大文字数は 20 文字です。
 7. [ホスト名 (Host Name)] フィールドに Windows ホストを入力します。
 8. [自動ログオン (Auto Logon)] ドロップダウンリストから、[オン (ON)] または [オフ (OFF)] を選択します。
 9. [プロダクト キー (Product key)] フィールドに、OS ライセンス キーを入力します。
- b) [インストール用ディスク (Installation Disk)] 領域では、[インストールディスクの選択](#)の手順を実行します。
- c) [ネットワーク設定 (Network Settings)] 領域では、[ネットワーク設定](#)の手順を実行します。
- d) [インストール用ドライブ (Installation Drive)] 領域で、[インストールドライブの選択](#)の手順を実行します。

Linux OS のカスタム インストール

Linux Server Series オペレーティングシステムのインストール

カスタム設定で Linux サーバー OS をインストールするには、次の手順を実行します。

- Step 1** 左側のナビゲーション ペインで、[OS のインストール (OS Installation)] をクリックします。
[OS のインストール (OS Installation)] ページにすべての OS インストールのオプションが表示されます。
- Step 2** [OSカテゴリ (OS category)] ドロップダウン リストから、[Linux] を選択します。
- Step 3** [OS バージョン (OS Version)] ドロップダウン リストから、該当する Linux バージョンを選択します。
- Step 4** [インストール用のディスク (Installing Disk)] ドロップダウン リストから、ディスクの保存場所を選択します。
- Step 5** [カスタム インストール (Custom Install)] をクリックして、インストールを開始します。
選択した ESXi バージョンの [VMware ESXi のカスタム インストール (VMware ESXi Custom Install)] ページが表示されます。
- Step 6** [Linux カスタム インストール (Linux Custom Install)] ページで次の手順を実行します。
- a) [基本構成 (Basic Configuration)] 領域では、次のことを行ってください。

1. [キーボード (**Keyboard**)] ドロップダウンリストから、該当する言語を選択します。
 2. [タイムゾーン (**Timezone**)] ドロップダウン リストから該当するタイムゾーンを選択しします。
 3. [言語 (**Language**)] ドロップダウン リストから、該当する言語を選択します。
 4. [ルートパスワード (**Root Password**)] フィールドに、ルートパスワードを入力します。
 5. [ルートパスワードの確認 (**Confirm Root Password**)] フィールドにルートパスワードを再入力します。
- b) [インストール用ディスク (**Installation Disk**)] 領域では、[インストールディスクの選択](#)の手順を実行します。
- c) [パッケージの選択 (**Package Selection**)] 領域で、該当するパッケージを選択します。
- d) [ネットワーク設定 (**Network Settings**)] 領域で、[ネットワーク設定](#)の手順を実行します。
- e) [インストール用ドライブ (**Installation Drive**)] 領域で、[インストール ドライブの選択](#)の手順を実行します。
-